

鹿部町対話ミーティングを開催しました

令和5年度鹿部町対話ミーティングが11月22日、中央公民館で開催され、10名の参加がありました。

当日は、町が今年度を実施している事業の進捗状況などを町長が説明し、それぞれの事業や町政全体について、参加された皆さんから多くのご意見やご要望をいただきました。

いただいたご意見やご要望の一部を以下のとおりお知らせします。



町政や事業について寄せられたご意見・ご要望（抜粋）

ご意見・ご要望	町の回答
商工業振興事業補助金について、利益を出していても補助を貰わなくても自分たちの会社の力で十分やっつけられるようなところもあると思っている。そういうところにも補助金を出している。町民のお金だからって遠慮がちなのもいると聞いている。企業努力で利益を十分出しているところには補助はいらぬのではないか。	この事業の目的は、体力的に弱い企業などを救うというよりは、これから頑張るんだ、これから生産性を上げてもっと稼ぐことができるようにしたいんだというところに、支援するというのがこの制度の目的です。そこが難しいところで、弱いところには弱いところの支援がまた必要だと思っていました。
鹿部町はすごく海が綺麗で、魚がたくさん集まる場所だったが、現状はどうか。	海全体が温暖化などの複合的な要因で、今までのような生態系ではなくなっています。まさに鹿部町もそうで、これまで獲れていたものが獲れなくて、これまで獲れなかったブリやマグロが獲れるようになっています。
シルバーハウジングを2年後ぐらいから進めていくということですが、私の周りの状況を見ると切迫しています。今まで地域のために貢献してきた方々が、健康の面などで鹿部から去らざるを得ない状況です。ニーズはかなりのあるので、色々な方の意見を集めて、鹿部で人生を終えられるようなまちづくりを考えてほしいです。	今はシルバーハウジングの検討に入っていて、最速で令和7年度に着工です。笑顔で住み続けられる町ということで、早急に協議会を作りたいと思います。
引き取り訓練の話を広報で見ましたが、本来すべきことは、津波の時とか、そこにいる子供たちと先生が責任を持って安全なところに避難をする、そういう訓練をよくニュースや新聞で見ます。そのような訓練は一度も広報で見たことがないので、する予定がないのか、それとも本当はしているけれども広報に載っていないだけなのか。	津波の時の避難訓練として、避難場所を決めているのですが、そこに逃げるという訓練をしています。津波だけでなく、噴火、火災、地震という形で様々な訓練もしています。引き取り訓練は、あらゆることを想定した、そのうちの1つだということで認識していただければと思います。

その他ご意見・ご要望については、町公式ホームページに掲載しています。

▼お問い合わせは、役場企画振興課企画係（7-5298）へ。